



全国保育士会

ともに語り、ともに学び、
ともに子どもの育ちを支えましょう

～全国保育士会とは～

全国保育士会は、1956（昭和31）年に「子どもたちの真の幸福を守るために保母（現保育士*等）は手をつなぎ、たちあがろう!」という呼びかけに賛同した人たちの手によってつくられました。現在、会員約18万6千人の保育士・保育教諭を中心とした組織として、保育の質の向上をはかり、保育士・保育教諭等の専門性の確立をめざしています。

※1999年の児童福祉法施行令施行により「保育士」に名称変更

全国保育士会倫理綱領（前文）

すべての子どもは、豊かな愛情のなかで心身ともに健やかに育てられ、自ら伸びていく無限の可能性を持っています。

私たちは、子どもが現在（いま）を幸せに生活し、未来（あす）を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと責任をもって、自らの人間性と専門性の向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重し、次のことを行います。

私たちは、子どもの育ちを支えます。

私たちは、保護者の子育てを支えます。

私たちは、子どもと子育てにやさしい社会をつくれます。

全国保育士会倫理綱領は「子どもの最善の利益の尊重」など全8条から構成されています。詳しくは「全国保育士会倫理綱領ガイドブック」をご参考ください。



～会員の皆さまには～

●保育士会だより

機関誌「保育士会だより」（年6回発行）をお送りします。最新の制度動向や保育者としてのスキルアップをめざす特集等、保育に役立つ情報をお届けします。



●感謝状の贈呈

保育士等として長年勤められた方に感謝の意を表し、全国保育士会会長より感謝状を贈呈します。

●会員専用ページ（ホームページ）

会員専用ページで、保育や子育ての制度動向、本会が発信する最新情報を得ることができます。

●学会での発表の支援

学会にて研究発表をされた方に対し助成支援します。

●研修会

全国保育士会では、より質の高い保育実践に必要な知識・技術の向上を目的として研修会を開催しています。会員の皆さまは会員料金で受講することができます。

研修会の一例

- 全国保育士会研究大会
- 全国保育士研修会
- 食育推進研修会
- 主任保育士・主幹保育教諭特別講座*
- 「保育スーパーバイザー」養成研修会

*主任保育士・主幹保育教諭特別講座とは

保育所・認定こども園の中核を担う主任保育士・主幹保育教諭の専任配置をめざして、年2回の集中講義やレポートによる学びに加え、ゼミに所属し、学識者の指導のもと実践研究に取り組みます。ゼミでの演習では全国の受講生と意見交換を行い、研究を深めます。

※保育士会は、各都道府県・指定都市、さらには市区町村や郡に組織されています。各地域の保育士会にご加入いただくことで、全国保育士会の会員となります。全国保育士会の会費は年600円で、全国保育士会の活動のために使われます。

▶ 詳しくは、お住まいの都道府県・指定都市保育士会までお問い合わせください。

都道府県・指定都市保育士会一覧表

<https://www.z-hoikushikai.com/about/donna/jimukyoku.html>



社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育協議会
全国保育士会

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられました。コロナ禍の間、保育所・認定こども園等は日々の子どもたちの生活の場を保障し、保護者の子育てを支えるために、園内の衛生管理と保育の質の確保をめざす取り組みはもとより、自身の健康管理にも細心の注意を払って保育の継続に努めてきました。この姿勢はこれからも継続していきます。

世の中の大きな変化のなかで保育を取り巻くさまざまな制度も大きく変わっており、保育所・認定こども園等に求められる役割も増えてきています。その動向を見据えながらさらなる保育の理解促進に向けた発信、スキャンボ募金を活用した保育士・保育教諭等への支援などの取り組みを進めてまいります。何より、研修や大会が参集で行われることとなり、益々、会員のつながりを実感できることになるでしょう。このつながりがより強いものとなるために、会員を支える都道府県・指定都市保育士会組織を支援しながら、力強く活動を進めてまいります。



全国保育士会
会長
村松幹子



全国保育士会事業の4つの柱

1 子どもが豊かに育つ質の高い保育の実現

- ①「倫理綱領」の理念に基づいた保育の質の向上と実践強化
- ②「保育士・保育教諭の研修体系」に基づく生涯研修の実施
- ③社会の変化に対応した保育内容の実践と発信
- ④食育の推進
- ⑤地域支援事業に向けた取り組み
- ⑥実践研究の推進、支援

2 専門性の発揮できる環境構築

- ①保育制度改革等への対応
- ②保育士・保育教諭の人材確保、育成、定着（保育者に向けた保育の魅力の発信の取り組みを含む）
- ③①、②の取り組みを支える全国保育士会の組織強化と、ブロック、都道府県・指定都市保育士会との連携強化
- ④会員および保育関係者への情報発信

3 乳幼児教育への理解促進

- ①保育（養護と教育）の専門性の明確化と発信の取り組み
- ②子どもの育ちの連続性を確保する小学校との連携強化

4 スキャンボ募金による保育士等支援

- ①全国保育士会被災地支援スキャンボ募金の実施
- ②大規模自然災害の発生への備え

社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会「中間のとりまとめ」 （令和5年3月作成）

保育所保育指針と照らして保育の現状について整理するとともに、子どもの最善の利益を保障する保育を提供し続けるために必要な要素について記載しています。



保育所・認定こども園等における自己評価・第三者評価を活用した実践事例～子どもの豊かな育ちを保障する取り組みのすすめ～ （令和5年3月作成）

保育所・認定こども園等の実際の取り組みや工夫を紹介し、自己評価や第三者評価の取り組みに向けて一歩踏み出していただくことを目的としています。



【発行物一覧】

- 「保育士・保育教諭として、子どもの貧困問題を考える」～質の高い保育実践のために～（令和4年6月改訂）
- 子どもの育ちを支える食～保育所等における「食育」の言語化～（令和2年3月作成）
- これって虐待？～子どもの笑顔を守るために～（保育者向け児童虐待防止のための研修用ワークブック）（令和2年3月作成）
- 医療的ケアを必要とする子どもの保育実践事例集（令和元年5月作成）
- 子どもの育ちの連続性を確保するために～保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続をめざして～（平成30年11月作成）
- 保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～「子どもを尊重する保育」のために～（平成29年3月作成、平成30年4月一部改訂）
- 東日本大震災被災地における子どもの育ち事例集～災害時の保育士・保育教諭の専門性を考える～（平成30年3月作成）
- 保育を高める実践研究の手引き（平成25年3月作成、平成29年9月一部改訂）
- 「保育士・保育教諭が誇りとやりがいを持って働き続けられる、新たなキャリアアップの道筋について」保育士等のキャリアアップ検討特別委員会 報告書（平成29年6月作成）
- 自園調理の優位性を発信するためのパンフレット「食べることは生きること」（平成28年作成、平成29年一部改訂）
- 『養護と教育が一体となった保育とは』～私たちは、子どもの命を育み、学ぶ意欲を育てます～（平成28年6月作成）

★発行物はホームページよりダウンロードしていただけます。

ホームページでは、保育の魅力や専門性の発信動画、保育士が日ごろ保護者等からよく受ける子育ての相談や育児についての悩みを保育士の知識・経験を活かしてこたえる「保育士がこたえる子育てQ&A」などもご覧いただけます。

<https://www.z-hoikushikai.com>

